

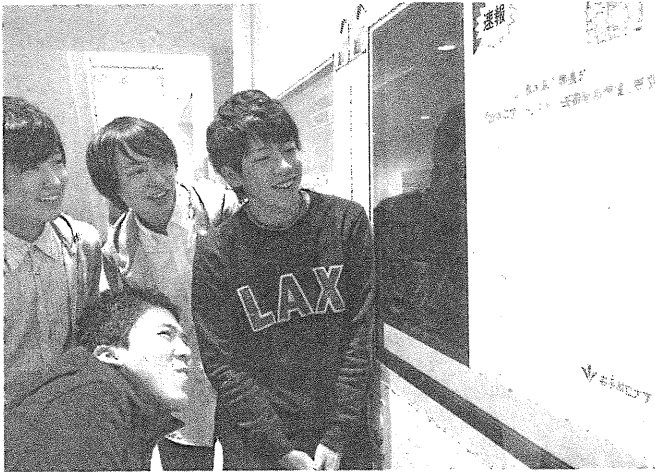
# 世界が認めた科学研究

## 鈴木学長ブレークスルー賞

### 県立大生「誇りに」

### ILC関係者「弾み」

県立大の鈴木厚人学長らのニュートリノ研究グループが、世界の顕著な科学研究に贈られるブレークスルー賞を受けた9日、県内外から祝福や科学振興を期待する声が上がった。同大の学生は世界トップ級の評価を受けた鈴木学長に尊敬のまなざしを向け、研究者は基礎科学の発展を期待。鈴木学長は東北への国際リニアコライダー（ILC）誘致のけん引役でもあり、関係者は朗報を喜ぶ。【本記1面】



電子掲示板を読み鈴木厚人学長の受賞を喜ぶ（左から時計回りに）佐々木優さん、佐藤雅希さん、阿部敏尚さん、西川佳輝さん=9日、滝沢市・県立大

滝沢市の同大キャンパスでは同日午後、電子掲示板で学生に受賞を速報。ソフトウェア情報学部1年の佐藤雅希さんは「世界中で研究している分野で素晴らしい賞をもつとはすごい。誇りに思う」と驚いた。

同学部1年の佐々木優さんは「研究や賞について学長が学生に伝える機会があればうれしい」と声を弾ませた。

今回の受賞5グループには日本から三つ選ばれ、層の厚さを見せつけた。高エネルギー加速器研究機構（KEK）の小林隆・素粒子原子核研究所副所長は「日本のニュートリノ

長時代から、本県の北上山地（北上高地）が建設候補地のILC誘致に向けた取り組みの中心を担ってきた。県国際リニアコライダー推進協議会の谷村邦久会長は「ニュートリノ地球科学への功績の大きさに敬意を表するとともに、ILC実現に向けた取り組みにますます弾みがつく」と期待する。

いわてILC加速器科学推進会議（奥州市）の亀井川富夫代表幹事も「鈴木学長の指導は大変心強い」と歓迎。県職員時代から親交がある勝部修一関市長も「ILC実現を目指す当地に大きな希望をもたらす」と喜ぶ。

達増知事は「鈴木学長が長年取り組んできた素粒子物理学と高エネルギー加速器研究への関心が高まればと思

う。科学の学習や研究待する」ときのコメントが盛り上がることを期待を公表した。